

ママになるあなたへ



ご存知ですか？

～ 妊娠中の飲酒の影響について ～

【お問い合わせ】 鈴鹿市こども保健課

（保健センター内こども家庭センター）

TEL：059-382-2252 FAX：059-382-4187

🔷 飲酒について

妊娠中の女性が飲酒すると、胎盤を通じてお腹の中の赤ちゃんの血液にアルコールが流れ込んでしまいます。その影響で、流産・死産・先天異常・中枢神経障害が起きやすいと言われています。

飲酒習慣のあるママに脳の障害や奇形のある赤ちゃんが生まれることがあります「胎児性アルコール症候群」といいます。

胎児アルコール症候群とは？

1. 成長が遅れる

お腹の中での発育が遅れる、生まれた時から低身長・低体重

2. 中枢神経障害

精神発達の遅れ、多動症など

3. 特徴のある顔つき

頭が小さい、目が小さく黒目しか開かない、鼻が低く小さくなりがちなど



妊娠の初期は、赤ちゃんの体ができる時期、この時期に多量の飲酒・習慣化している飲酒は、顔つきやいろいろな部位の奇形になりやすい時期です。妊娠中期・妊娠後期は、赤ちゃんの発育の遅れ・中枢神経障害になりやすい時期です。